

数 学 科 (2 学 年)

週時間数 3 時間

1 学習の手引き

使用教材	・教科書、ノート、ワーク、ファイル、タブレット
学習の進め方	・本時の「めあて」の見通しを持って、課題解決に粘り強く取り組む。 ・「なぜ」「どうして」を大切に、自分の考えを互いに伝え合い、数学的に考察し、表現する。 ・授業で明らかになった数学的な性質や解決の手立てを用いて、課題解決をする。 ・家庭学習を通して授業の振り返りを行い、ワーク等を利用して学習を深める。

2 学習の内容

学期	月	題 材	学習内容	評価材料とするもの
前 期	4 月	○1 章 式の計算	・ 式の計算 ・ 文字式の利用	・ 定期テスト ・ 小テスト（単元末テスト） ・ 学習の振り返りの内容
	5 月	○2 章 連立方程式	・ 連立方程式の計算方法 ・ 連立方程式の利用	
	6 月			
	7 月	○3 章 一次関数	・ 一次関数とグラフ	
		＜夏休み＞		
	9 月		・ 一次関数と方程式	
	10 月		・ 一次関数の利用	・ 発表、発言の内容 ・ 提出物（ワーク、ノート、プリント等）の内容
後 期	11 月	○4 章 図形の調べ方	・ 平行と合同 ・ 証明	
	12 月	○5 章 図形の性質と証明	・ 三角形	
		＜冬休み＞		
	1 月		・ 四角形	
	2 月	○6 章 場合の数と確率	・ 場合の数と確率	
	3 月	○7 章 箱ひげ図とデータの活用	・ 箱ひげ図	

3 評価の観点と内容・方法

観 点	内 容	評価方法
知識・技能	・数学における基本的な概念や法則を理解することにより、数学的に表し、処理する技能を身に付けている。 （数学用語を理解し、きまりを用いて基本的な計算を行ったり図表に表したりすることができる。）	・定期テストや小テストにより、知識と技能それぞれの観点から総合的に判断する。
思考・判断・表現	・数学を用いて、論理的に考察することができる。 ・数量や図形などの性質を見出し、発展的に活用したり数学的な表現を用いて説明したりすることができる。	・定期テストや小テストにより、思考・判断・表現の観点から総合的に判断する。 ・授業での発表内容やプリント等 - に書かれた考察から判断する
主体的に学習に取り組む態度	・身に付けた知識や技能、思考・判断・表現力を用いて、自らの学習を調整しながら、粘り強く学習に取り組んでいる。 （ワークやノートを用いた練習や復習、提出課題への取り組み、授業への積極的な参加などを含む。）	・授業に取り組む姿勢や提出課題の内容、学習の振り返りから総合的に判断する。